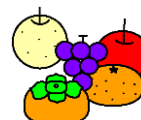


2023年 11月号

キッズランチニュース

たかさご保育園キッチン



秋風が心地よい季節となりました。

美味しい秋の味覚がたくさん！食欲の秋ですね。たくさん食べて、風邪に負けない体づくりを心がけていきましょう。



さつまいも汁パーティー



10月13日(金)にりす、ひつじ、ぞうの3クラスがクッキングを行いました。りす組、ひつじ組は初めてのクッキングでおにぎり、ぞう組はさつまいも汁とおにぎりを作りました。

りす組は、わかめおにぎりを作りました。子ども達の目の前に、バットいっぱいに広げた炊きたてのごはんを持って行くと、「わぁ～ごはんがたくさん」と、とても驚いていました。栄養士が、わかめふりかけを混ぜる際には、「おいしくなあれ」とみんなで魔法の言葉を使いながら、応援してくれました。おにぎり作りでは、握ったおにぎりの大きさが違うものを見て「あかちゃんおにぎり」とおにぎりに名前をつけていました。また、握っている最中から「いつたべるの？まだ？まだ？」と心待ちにする子もいました。写真撮りますよ！と言葉をかけると、まるでガラスを持つかのようにおにぎりを大切に持っていました。

食事中は、「レストランみたい」「わかめおにぎりおいしい～」と自分たちの握ったおにぎりを美味しそうに食べる姿や、楽しい雰囲気にもいつもよりも食べる量が増えていました。



ひつじ組はお米とぎと、塩おにぎりを作りました。

まずは、お米とぎ。「ぐるぐる、ぎゅっ」の掛け声を唱えながら、といだお米は炊飯器に入れてスイッチオン！ごはんが炊けるまでの間、キッチンで炊いたごはんでおにぎりを作りました。職員がラップを広げ、ごはんを順番に置いていきます。「ラップの四つ角を集めて、ごはんの所は優しく持ってね」のお約束をして作りました。「もうおなかすいてきちゃった！」「はやくたべたいなあ～」とお友達同士で話をしながら楽しくおにぎりを握っていました。

ごはんが炊きあがり、炊飯器を開けると、「わあ〜！たべたいなあ〜」と言っていた子ども達。炊きたてのごはんを内緒で一口ずつ味見をしました。「なにもかけてなくてもおいしいね」と秘密の味は格別だったようです。

また、前日に八百屋さんへみかんの買い物にも行ってきました。買ってきたみかんを洗い、テーブルに並んだ時には嬉しそうな顔をしていました。



食事中は、「ぼくね、わかめおにぎりにがてだったんだ。きょうは、りすぐみさんがつくってくれたからおいしいよ、おかわりしようかな」というやり取りを聞いて、目の当たりに子どもの成長を感じました。

ぞう組はさつま汁の具になる野菜の皮むきに、こんにゃく削ぎ、おにぎり作り、と大忙しでした。

初めてピーラーを使って、人参と大根の皮むきをしました。事前に家庭で、ピーラーがどのようなものなのかを予習して練習してきた子どもも多く、ピーラーの使い方を説明しただけで、正しい持ち方で力加減もちょうど良く、こちらが驚くほど上手にきれいに皮をむいていました。むけてない所を触って「ここざらざらしてる」、皮をむいて真っ白になった大根を見て「けーきみたい」という声が聞かれました。



こんにゃくは安全面からスプーンを使って一口サイズに削ぎました。食材をまな板に置いていくと、「かわいい」「つめたくてきもちいい」と言った声が聞かれました。大きくならないようにね、と説明すると「〇〇ちゃんがたべるならこのぐらいかな」と年下のお友達の事を考えて顔を思い浮かべながら真剣に食材を見つめる子ども達は、とても微笑ましい姿でした。

ぞう組は、おかかおにぎりを作りました。おかか（かつお節）は日常的によく目にしており、「たこやきにかけるのだ〜」とぞう組では、おかか＝たこ焼きというイメージになっているようでした。おにぎり作りは2回目なので、さすがお手の物！！と手際よく、あっという間に112個作りあげました。

4年ぶりに3クラス揃っての食事会では、自分たちが掘ってきたさつま芋が入っていると知り、大喜びでした。苦手な食材も、頑張って皮をむいたから食べてみようとする子もいました。おにぎりは、塩むすびが大好評！！で、売り切れた事に大喜びのひつじ組さん。ぞう組さんは、悔しがる様子もありましたが、「ひつじぐみさんがつくった、しおむすびさいこ

う！！」という言葉が聞かれ、相手を思いやる子ども達の成長を感じました。

「今日はパーティーだからお代わり何回してもいいですよ～」と伝えると「どのおにぎりにしようかなあ～」「ぜんぶおかわりしようかな～」「さつまじるおかわり！」とお握りを10個食べた猛者もいました。秋の味覚を存分に味わったパーティーとなりました。

